

科目名	食と育		
担当教員名	向井 美穂、鶴木 恵子、片居木 英人、徳野 裕子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

よりよい人間生活を追及していこうという本学部のコンセプトを今講義受講を通して理解する。複数の担当教員が各自の専門領域から「食」と「育」が交差統合する所に立ち現れたトピックについて講義する。

内容

- 1.食を通して、人はコミュニケーションをとることができ、人は食を通して育まれる。そして、食は自分の身体の基本を造り上げる。自分の身体と食生活を通して、栄養学的側面からの食について学び、女性として大切な妊産婦期の食生活を取り上げ、社会的側面の食の役割について考える。 身体と食とのかかわり 現在の食を取り巻く環境について 妊産婦食生活指針から見えてくる食の役割(徳野)
- 2.食の過不足が私たちの体、特に身体疾患に影響を与えることは知られるようになってきたが、食が私たちのこころや気分にどのような作用を与えているかはあまり知られていない。本講義では、食がセロトニンやGABAなどの神経伝達物質にどのような影響を与え、こころに作用するか、そのメカニズムを示す。精神疾患との関連も取り上げる予定である。(鶴木)
- 3.食と育を法律から考えていく。「食と育」に関する問題は、生存権、健康権、成長発達権、幸福追求権にかかわる。また人権問題としてもとらえることができる。憲法13条や25条をベースに、主に食品衛生法、食品安全基本法、健康増進法、食育基本法を取り上げ、それら法の目的や理念を読み、法律の視点から「食と育」の意味を人権論的に探っていきたいと考える。(片居木)
- 4.校長は学校栄養職員(栄養士)や給食調理職員の管理監督と業務評価を行う。管理とは学校給食の管理と食育指導指す。栄養士、調理職員との会議等の体験や、学校給食法、食育基本法等をもとに、最新の学校給食の実態や学校情報をもとに3回の授業を構築し、受講生とともに、これからの食と育のストーリーを作り上げていく。(増田)
- 5.「食育基本法」において、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である」と宣言され、乳幼児期からの食育の推進が声高に叫ばれている。子どもの「食」の経験を豊かなものにするためには、われわれ大人はどのように「食」を捉え、子どもと関わればよいのだろうか。本講義では、幼稚園・保育所・地域・家庭等における実践・連携の事例等を紹介しながら、子どもの「食」を支える大人のありようについて考えてみたい。(横井)

評価

ペーパーテスト70点及び授業への参加度を30点として評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	塩谷 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人は、その誕生から死に至るまで、生涯を通じて発達する可能性を持つ存在であるとの立場に立ち、文化や社会など周辺環境の影響や他者とのコミュニケーションによる相互作用の中で、いかにして自らの行動様式を変容・多様化しつつ自己のアイデンティティを確立し、生涯発達し続けることができるのかを考えたい。

内容

授業計画：

- 第1回 序章 生涯人間発達論とは？
- 第2回 乳児期 (0～1歳)
- 第3回 幼児前期 (1～3歳)
- 第4回 幼児後期 (4歳～小学入学まで)
- 第5回 学童期
- 第6回 思春期
- 第7回 青年期
- 第8回 前半の復習
- 第9回 成人前期
- 第10回 成人中期
- 第11回 成熟期
- 第12回 成人後期 (65歳～)
- 第13回 生涯発達の到達点・目標
- 第14回 後半の復習
- 第15回 まとめ・テスト

評価

平常点 (30点) , テスト (70点) を評価の対象とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書 : 服部祥子 『生涯人間発達論』医学書院 2002

参考図書: 岡本祐子・松下美知子編 『新女性のためのライフサイクル心理学』 福村出版 2002

岡本裕子 『アイデンティティ生涯発達の展開』ミネルヴァ書房 2007

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の特徴について学ぶ。特に、乳幼児期の身体的、心理的発達について焦点を当てる。

まず、生涯発達という概念について理解を深め、一生変化し発達していくものとしての人間の一生の中の最初期である乳幼児期の重要性を考える。そして、乳幼児期の発達とは何かについて、様々な側面から考える。また、生涯発達の観点から考えた障害についても理解を深める。

内容

- (1) 生涯発達とは： 生涯発達論の歴史的背景、 人間の発達、 エイジングについて
- (2) 生涯発達とライフコース： 様々な生涯発達観、 人間の生涯とライフコース、
発達課題とは、 発達段階論と発達課題論、 様々な発達段階論
- (3) 乳幼児期の発達： 乳幼児期の発達の重要性、 発達初期の子どもの能力、 身体的発達
- (4) 気質： 気質とは、 気質の生物学的基礎、 母子関係と気質
- (5) 情動の発達と愛着： 情動の機能の発達、 情動と対人関係、 愛着の機能と発達
- (6) 認知機能の発達： 認知発達を支える生物学的基礎、 動機づけ、 様々な認知発達
- (7) 言語機能の発達： 言葉とは、 言語発達を支える生物学的基礎、 言語発達の実際
- (8) 対人関係の発達、社会的認知の発達： 家族とは、 家族の影響、 仲間の影響、
社会的認知とは、 他者の存在の重要性と発達
- (9) 遊びとメディア： 遊びの意義、 ごっこ遊び・仲間遊び、 テレビや絵本とのかかわり、
様々なメディア利用
- (10) 反抗期と自律の発達： 反抗期とは、 子どもの反抗と社会化
- (11) 生涯発達の観点から考える障害： 発達課題と障害、 適応
- (12) 乳幼児期から児童期へ： 発達の移行期、 発達に伴う様々な変化
- (13) 女性のライフコース
- (14) まとめ
- (15) 試験

評価

平常点 (授業内の感想票) 20点、学期末の筆記試験80点として評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房
無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の特徴について学ぶ。特に、乳幼児期の身体的、心理的発達について焦点を当てる。

まず、生涯発達という概念について理解を深め、一生変化し発達していくものとしての人間の一生の中の最初期である乳幼児期の重要性を考える。そして、乳幼児期の発達とは何かについて、様々な側面から考える。また、生涯発達の観点から考えた障害についても理解を深める。

内容

- (1) 生涯発達とは： 生涯発達論の歴史的背景、 人間の発達、 エイジングについて
- (2) 生涯発達とライフコース： 様々な生涯発達観、 人間の生涯とライフコース、 発達課題とは、 発達段階論と発達課題論、 様々な発達段階論
- (3) 乳幼児期の発達： 乳幼児期の発達の重要性、 発達初期の子どもの能力、 身体的発達
- (4) 気質： 気質とは、 気質の生物学的基礎、 母子関係と気質
- (5) 情動の発達と愛着： 情動の機能の発達、 情動と対人関係、 愛着の機能と発達
- (6) 認知機能の発達： 認知発達を支える生物学的基礎、 動機づけ、 様々な認知発達
- (7) 言語機能の発達： 言葉とは、 言語発達を支える生物学的基礎、 言語発達の実際
- (8) 対人関係の発達、社会的認知の発達： 家族とは、 家族の影響、 仲間の影響、 社会的認知とは、 他者の存在の重要性と発達
- (9) 遊びとメディア： 遊びの意義、 ごっこ遊び・仲間遊び、 テレビや絵本とのかかわり、 様々なメディア利用
- (10) 反抗期と自律の発達： 反抗期とは、 子どもの反抗と社会化
- (11) 生涯発達の観点から考える障害： 発達課題と障害、 適応
- (12) 乳幼児期から児童期へ： 発達の移行期、 発達に伴う様々な変化
- (13) 女性のライフコース
- (14) まとめ
- (15) 試験

評価

平常点 (授業内の感想票) 20点、学期末の筆記試験80点として評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房
無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	児童学概論		
担当教員名	綾井 桜子、金勝 裕子、上垣内 伸子、狩野 浩二 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、児童幼児教育学科の学生の卒業必修科目である。他学科の学生においては、選択科目である。

現代において、子どもの育ち、学び、遊びを支える環境や社会の変化が様々に指摘されるなか、私たちは、子どもに何をどう分かち伝え、どのようなことを、子どもと共に考えていったらよいのだろうか。おそらく、この問いは、私たちが子どもと関わるなかで、様々に感じ、考える事柄と深く関わっていることであろう。本科目では、各授業の内容に即して、この問いについて考え、子どもをめぐる現実について関心を深めてゆくことを主たるねらいとする。

受講者各自が作成した「講義ノート」が主要テキストとなるため、授業の内容をよくつかみ、ノートにまとめるなど、大学での講義を受けるための基本的なスキルも身につけてほしい。

内容

今年度は、「いま、子どもたちへ伝えたいこと、共に考えたいこと」というテーマのもとに、担当教員それぞれの専門領域からこのテーマにアプローチし、解説を行う。

皆川美恵子 オリエンテーション

狩野浩二

黒瀬任通

清水玲子

流田直

松木正子

山本悟

平田智久

上垣内伸子

曾我淑人

横井紘子

野口隆子

金勝裕子

長田瑞江

綾井桜子 試験

評価

授業への取り組み50%、試験50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じて、各担当教員が参考図書を紹介や資料の配布を行う場合がある。

科目名	青年心理学		
担当教員名	伊藤 美紀		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

青年期とは、およそ中学校入学の頃から大学卒業の頃までの時期を意味している。

この時期に、人はさまざまな問題にぶつかり、悩みながら成長していくこととなる。

「人は信じられるのだろうか?」「友人ってなんだろう?」「本当の自分って何?」「自分の人生の意味(価値)は?」「自分の人生はこの先どうなるの?」「自分のルーツは?」などの疑問について誰もが一度は頭をかすめたことのあるものではないだろうか?

この授業では、青年期の発達の特徴や発達課題について学ぶとともに、青年期後期にある学生自身の自己探求のきっかけ作りを行い、自己理解の深化と人格の発展に役立つことを目指したい。

内容

1	オリエンテーション
2	青年心理学の歴史と現代青年の特徴
3	アイデンティティ 青年が問われるもの
4	身体の発達 からだとこころ
5	青年の自立 家族との関係
6	友人関係の発達
7	恋愛・結婚 妬み・嫉妬
8	青年と文化 携帯電話を中心に
9	道徳性の発達
10	青年の宗教性 あなたにとっての宗教性は…?
11	生きがい感 「自分探し、生きる」とは?
12	青年の死生観 「死ぬ」とは?
13	青年期と精神疾患
14	ロストジェネレーション 現代青年へのメッセージ
15	まとめ・学期末テスト

評価

出席 (授業中の課題・小レポートの提出) 50点

学期末テスト50点

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】宮下一博監修松島公望・橋本広信編 『ようこそ! 青年心理学』ナカニシヤ出版

科目名	老年学概論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

加齢現象のもたらす個人的、社会的な意義を把握する。

高齢者を取りまく社会状況について理解させる。

高齢社会の進展の中で高齢者福祉の意義と概要を学習する。高齢者を取り巻く社会的状況を理解し、高齢者福祉制度について学ぶ。

内容

少子高齢社会の到来と意義について

加齢に伴う心身の状態の変化とその意味

高齢者家族の変容について

地域社会と扶養機能の変化について

経済生活と年金について

就労と社会参加について

介護問題と社会福祉サービスについて

評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合(3回以上)は出席点を差し引く。

3分の2以上の出席をもって試験の受験可。試験、出席、レポートを合計し評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】改訂『新選 一部改訂 高齢者福祉論』 みらい

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

授業後のミニレポート、授業への参加度、及び最終試験の結果を併せて評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

授業後のミニレポート、授業への参加度、及び最終試験の結果を併せて評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

授業後のミニレポート、授業への参加度、及び最終試験の結果を併せて評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	家族関係論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

家族という小集団は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なってきている。本科目では、家族関係における周期的な変化と時代的な変化を、実証データを使って理解する。

内容

1	家族のかたち - 1 . 家族の捉え方 (家族の定義、家族と世帯)
2	家族のかたち - 2 . 家族の類型と分類 (核家族、家族の類型と分類)
3	家族のかたち - 3 . 家族形態の変化 (小家族化、核家族化、家族外生活者の増加)
4	結婚と家族形成 - 1 . 異性交際 (異性関係の発達、異性交際の実態)
5	結婚と家族形成 - 2 . 配偶者選択 (配偶者選択のメカニズム、配偶者選択のプロセス)
6	結婚と家族形成 - 3 . 結婚 (結婚の意味、結婚の機能、結婚の分類、日本人の結婚の変化)
7	ライフサイクルと家族発達 - 1 . 日本人のライフサイクル
8	ライフサイクルと家族発達 - 2 . ライフサイクルと生活設計
9	家族のライフステージと発達課題 - 1 . 夫婦関係と発達課題
10	家族のライフステージと発達課題 - 2 . 前期親子関係と発達課題
11	家族のライフステージと発達課題 - 3 . 後期親子関係と発達課題
12	家族と個人のライフコース - 1 . ライフコースとは何か
13	家族と個人のライフコース - 2 . ライフコースと世代
14	家族と個人のライフコース - 3 . 女性の自立とライフコース選択
15	試験

評価

学期末のペーパー試験 (60%) と授業時の課題 (40%) によって評価する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子『新版 データで読む家族問題』NHKブックス、2008。

野乃山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社、2009。

科目名	人間生命科学		
担当教員名	志村 二三夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生命科学は、科学的素養としての基礎生命科学の初歩や、生命体としての人体の構成と特性を学ぶ。近年目覚ましい発展を遂げてきたバイオサイエンスに親しみ、“生命とは何か”という永遠のテーマについて思索する上でも不可欠な、物質生化学や代謝生化学の基本的な知識・理解を充実させるとともに、簡単な医化学的知識を身につけることもめざす。生体機械論に対する拒絶や偏見を取り除くこともねらいとする。

内容

テキストを使用した講義を中心とする。

- 1.生命とは何か：人間生活＝じんかんいきいき
- 2.生物の本質的属性
- 3.生命の基本単位：細胞
- 4.生命の基本単位：細胞
- 5.生命と生体の秩序
- 6.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 7.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 8.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 9.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 10.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 11.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 12.生きることは栄養すること：なぜ人間は他の生命体を食べるのか
- 13.エネルギー栄養素は人体内では燃えない：どうやってATPをつくり、酸素を利用するのか
- 14.エネルギー栄養素は人体内では燃えない：どうやってATPをつくり、酸素を利用するのか
- 15.再び生命とは何か：地球環境・人間と生命・geneとmeme

評価

ペーパーテストにより評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】東京大学生命科学教科書編集委員会(編)文系のための『生命科学』洋土社

【推薦書】木下勉・小林秀明・浅賀宏昭 『ZEROからの生命科学』 南山堂

石田均・板倉弘重・志村二三夫・田中清(編著) 『臨床医科学入門』 光生館 492/R

横越英彦(編著) 『代謝栄養学』 同文書院 498.5/Y

五十嵐脩・志村二三夫(編著) 『生化学』 光生館 491.4/S

科目名	人間環境学		
担当教員名	流田 直		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間を生活者として捉え、環境を生活を取り巻くものとして押さえ、様々な視点から今日的課題や今後の方向を探り、一人ひとりが自分の生き方について考えていくことをねらう。

内容

大きく次の3点で問題や課題を取り上げ、講義だけでなくできるだけ学生同士の意見交換を加えながら自分の考えを持てるようにする。

- (1) 自然環境
- (2) 社会事象
- (3) 関わりあう人間

(1) では水や空気等身近すぎて日頃気づきにくい課題を取り上げ(2) では消費者としての生活や人々の抱える問題、これからの生活者としての視点(3) では現代の家族や子どもの問題も取り上げ、今後の自分の生き方を考える機会の一つになればよい。

評価

出席点(30%程度)、小論文(30%程度)、試験(40%程度)等で総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書はなしで自作資料や視聴覚教材を用いる予定。推薦図書等は授業の中で紹介する。

科目名	教育人間学		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間は生まれながらにして、人間ですが、しかし、本当に人間らしい生き方を身につけていくためには、相当に長い時間がかかります。なぜ、人間はこのように長い時間をかけて人間らしさを身につけるようになったのか、このこと自体が実に不思議なことです。この時間は、「人間らしさ」というものはどのようなものなのか、「人間らしさ」を身につけていくために、どのような方法を創り上げてきたのかということについて、考えたいと思います。

内容

以下の項目を取り上げます(順不同)。

1. 人間らしさとは何か
 - 1) 生物と子育て
 - 2) 人間の可能性について
 - 3) 人間の生命力
2. 人間らしさを伝える方法
 - 1) 書物のない社会
 - 2) 一人前
 - 3) 習俗としての子育て
3. これからの時代の生き方と子育て
 - 1) 教えること
 - 2) 学ぶこと
 - 3) 生き抜くこと
4. 公教育の考え方
 - 1) 公とはどういうことか
 - 2) 学校づくり
 - 3) 地域と学校の関わり
5. 子育てのとらえ直し
 - 1) 子どもと自然
 - 2) 子育ての習俗に学ぶ
 - 3) 身体と表現

評価

各回ごとの課題作成(20%)、口頭発表(20%)、レポート(20%)、最終試験(40%)、学則にしたがい、三分の二以上出席することで最終試験を受けることができます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】 大田堯著『学力とは何か』岩波新書 大藤ゆき『子育ての民俗 一人前に育てる』草土文化 宮本常一『家郷

の訓』岩波文庫 網野善彦『日本の歴史をよみなおす』ちくま学芸文庫

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規 悔悟宗臣監修『日本近代教育史事典』平凡社 大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編『民間教育史研究事典』評論社

科目名	人間栄養学概論		
担当教員名	山田 和彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人の健康は長い間にわたって良い食事を摂取することで保たれ、個人の健康は家族の幸福へと連がる。良い食事を作るには、正しい食事の機会を学ぶ必要がある。栄養学は健康で幸福な人生を営むための食の理論である。その内容は非常に広範囲にわたるので、3大栄養素については『基礎栄養学(濱口恵子担当)』で主として学び、ここでは微量栄養素であるビタミン・無機質・体内の水などについて詳しく説明する。また、エネルギー代謝や各種栄養素をどのくらい摂取するのが適正であるかについて講述する。

内容

- 1). 栄養の基本概念：栄養の重要性・良い食事・生存のための食物の役割
- 2). 健康の保持増進と栄養：食生活指針・動物性および植物性食品・各種の食品群と栄養特性
- 3). 炭水化物、脂質、タンパク質の機能と栄養特性：3大栄養素の相互関連・食物繊維・脂肪酸の摂取バランス・アミノ酸の摂取バランス
- 4,5). 水溶性ビタミン：ビタミンの概念・ビタミンB群と補酵素・ビタミンC・ビタミン類似物質
- 6,7). 脂溶性ビタミン：ビタミンA・ビタミンD・ビタミンE・ビタミンK
- 8,9). マクロミネラル：ミネラルの一般的機能・カルシウム・リン・マグネシウム・ナトリウムと塩素・カリウム・硫黄
- 10,11). ミクロミネラル：鉄・ヨウ素・亜鉛・マンガン・フッ素・セレン・クロム・モリブデン
- 12). 水と電解質：体内の水・水の出納・内部環境としての体液・体液の組成
- 13,14). エネルギー代謝と食品のエネルギー：エネルギー代謝・基礎代謝と活動代謝・食品のエネルギーとエネルギー換算係数
- 15). 日本人の食事摂取基準(基準の概略：エネルギー・タンパク質・脂質・炭水化物・食物繊維・ビタミン・ミネラル)

評価

平常点40点、及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】江指隆年・山田和彦・志村二三夫他共著 『基礎栄養学』 同文書院
- 【推薦書】林寛著 『栄養学総論 4版』 三共出版 498.55/H
- 管理栄養士国家試験教科研究会編 林寛他4名共著 『栄養学総論』 第一出版 498.145/K/8
- 厚生労働省策定 『日本人の食事摂取基準・2010年版』 第一出版 498.55/N

科目名	人間栄養学概論		
担当教員名	井上 久美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間が、身体も心も健康に生きる基本となる食事のあり方を理解するために必要な、栄養学の基礎を学習する。栄養素の構造や機能、消化・吸収にとどまらず、食品選択や食事パターンや食行動、ライフステージや疾患との関連などについても概説する。

内容

1	栄養の基本概念～栄養素と栄養～
2	現代の健康・栄養問題～過剰と欠乏～
3	主食の栄養学 ～糖質～
4	主菜の栄養学 ～たんぱく質～
5	主菜の栄養学 ～脂質～
6	副菜の栄養学 ～ビタミン～
7	副菜の栄養学 ～食物繊維～
8	乳・乳製品 ～ミネラル～
9	果物、水 ～水分～
10	食事と運動のバランス ～エネルギー代謝～
11	成長と栄養
12	加齢と栄養
13	生活習慣病と食行動 ～肥満、糖尿病、脂質異常症～
14	生活習慣病と食行動 ～骨粗鬆症、貧血、やせ～
15	試験

評価

レポート40点、ペーパーテスト60点とし、トータル60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】食と健康の科学 池本真二、稲山貴代 編著 建帛社

【推薦書】栄養学総論 林寛 著 三共出版、よくわかる栄養学 吉田勉 編 三共出版

科目名	健康科学概論		
担当教員名	森 三樹雄		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国は先進国として、少子高齢化が社会問題となっております。

高齢化と共に、生活習慣病が国民の健康をむしばむようになってきました。

生活習慣病には、糖尿病、痛風、肥満、心筋梗塞、脳梗塞、がんなどがありますが、

これらの病気の原因、検査、治療を理解することが必要です。その他の病気についても勉強し、

幅広い知識を身につけましょう。管理栄養士をめざしている人は、この講座で、疾病についての基本的な知識を身につけましょう。

内容

1	健康と病気
2	根拠に基づいた医療（EBM）日本の疾病？ チーム医療
3	健康増進と生活習慣（栄養、運動、休養）
4	健康増進と生活習慣（嗜好品、ストレス、休養、喫煙、飲酒）
5	病気の原因（内因と外因）
6	感染症（HIV感染症、新興感染症、再興感染症、日和見感染症）
7	血液疾患と貧血
8	メタボリック症候群と循環器疾患
9	高血圧と生活習慣
10	代謝疾患（糖尿病、痛風）と生活習慣
11	糖尿病と生活習慣
12	悪性腫瘍（がん）と生活習慣
13	生活習慣病とメタボリックシンドローム 特定健診・特定保健指導
14	ペーパーテスト
15	アレルギー・膠原病

評価

出席30点 + ペーパーテスト70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 森 三樹雄編 『やさしい臨床検査』 南山堂 2008

科目名	食文化人類学		
担当教員名	沢野 勉		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

世界各地には、さまざまな食べものがあり、それぞれ食習慣も異なっている。本講では食を文化の視点で捉えて、各地の食べもの、食習慣、食作法などを比較・考察する。食生活は気候・風土、生産条件、経済などの影響を受けるのは当然だが、これは同時に、その地域の人びとの自然観、宗教、文学や芸術の世界とも深く結びついている。食と人間と社会の関係を広い視野で見つめて、いろいろなジャンルの話題を探して、食の課題を考えていくのが本講のねらいである。

内容

1. 食文化人類学と学習の意義；文化と文明 / culture、agriculture、viticulture / 文化人類学の諸分野と食文化人類学の位置づけ
2. 風土と食物；アジアモンスーン地帯の特性 / 和辻哲郎『風土』の問題提起 / 「湿」の文化と「乾」の文化 / わび・さびの自然観 / 「水に流す」と「湯水のように」 / 生在蘇州、住在杭州、衣在上海、食在広州、死在柳州 / ベトナムのフランスパン - 植民地支配と食
3. 食の思想と肉・魚；森の民と豚 - ドイツでのヴルストの発達 / グリム童話にみる食 / 羊の家畜化と遊牧民の生活 / 日本人と魚食 / 宗教と食物禁忌 / イスラム教の豚とヒンズー教の牛 / 仏教と食
4. 日本人と米；宮澤賢治『雨ニモマケズ』に見る米 / 粉食と粉食と食の規制 / しゃもじ権と女性の地位 / 麹文化の発展と微生物工業
5. 日本における東西の食文化；サケ圏とブリ圏 / 食塩摂取の地域差 / 土用のうなぎと牛肉 / ラーメンのだしの地域差 / 丸餅と切餅 / 納豆と豆腐
6. 食の道具と食作法；箸食と手食 / パスタとフォーク / 日本の食卓での匙の欠落 / 食器の個用と共用 / 箱膳の知恵 / 食卓でのDIY
7. 食のことばと表現；食べものの雅称と忌みことば / ことわざにみる食生活の知恵 / ネーミング考

評価

平常点30点及びレポート70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは使用せず、主としてノートによる。参考書は随時紹介する。関係用語のプリント配布。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	結城 美恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学生の女性たちが幅広く「自分・社会・しごと・未来」について、どのように考えられるか、現代社会の動きに合わせてさぐっていく。現代の女性は活躍できない領域がないといわれるくらし、様々な領域に進出し多領域での活躍を見せるとどうじに、これまで少なかった管理職進出、起業家として会社を運営するなど地位の上昇もあり、ヨコとタテの拡大が起きている。さらに職業生活と家庭生活の両立を可能にするワークライフバランスについても、それを支援するという動きがある。女性自身の意識や行動の変化、さらにそれを支える企業の制度の変化、女性の活躍を望む社会の動きなど、変化する職業と女性の動きを探り、それと自分との関係、自分自身のキャリアプラン作りにつなげる。

内容

1 : 10年後の私は？

自分をさぐる地図づくり、10年後のわたしをイメージする。

2 - 3 : ライフサイクルの変化 : 時代と生き方の変化など、生活の基本となるライフサイクルの変化wをデータからとらえる。祖母の時代、専業主婦・パートの母の時代、少子化の私の時代

4 - 5 家庭の変化 : 結婚観の変化、その実態の変化、男女の関係性の変化など、家庭での女性の役割の変化をとらえる。家庭生活と職業生活を男女が共に担いつつある現状。

6 - 7 : 職業生活と女性との関わり : 仕事にかかわった長い歴史。専業主婦が誕生した近代社会と高度成長期。限られた専門職進出から、企業社会への女性の進出の実態をとらえる。

8 - 9 : 女性のチャレンジ : 女性の医者第1号はいつ？ 最近でもまだ女性第1号は誕生。

大工から宇宙飛行士までと多様な領域への進出(ヨコの拡大)。部長や社長になり組織を動かす女性たち(タテの拡大)

10 - 11 : ジェンダー意識の変化 : 何が変化したのか。「女性」をめぐる意識の変化、教育、行動の変化社会にかかわり、参画していこうとする女性の意識の拡大。

11 - 12 : 世界の動き : 諸外国の女性たちの動き。政治など決定の場への進出とその現状。

女性の活躍を支援する、世界の動きや国連の制度作り

13 - 14 : 女性たちのキャリア形成 : 日本の現状から、さまざまなキャリア・パターンの道を歩む女性たちの実態を追う。またキャリアを形成するプロセスをさぐる。

15 : わたしのキャリアプラン作りは？ 自分自身の意識が、様々な事柄やデータから、どのように変化し、キャリアに向かっていくか、自分の意識形成をとらえる。

評価

課題提出、レポートが60点、授業参加状況30点、出席10点、の合計100点で評価し、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに資料配布。関連図書は授業時に紹介する。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

明治時代に生まれた「女学（じょがく）」と、その教育の行く末を、ひとりの女性の生涯を通してながめながら、女性と文学、女性と政治、女性と経済など、日本近代史の各分野と女性との関わりを考察することを目的としています。

内容

カリーライスやボルシチで有名なレストラン・新宿中村屋。各地のデパートにも出店して、月餅や煎餅などの贈答用菓子の販売も手がけている、おなじみの老舗は、かつて大正時代から昭和初期にかけて、美術家や作家、俳優、宗教家、政治家などが、文字どおり世界中から集まる「サロン」の場となっていました。その立役者となるのが女将である、相馬黒光です。

没落士族の家庭に育ち、明治の女学校教育を経て、やがて近代のハイカラ文化を一身に背負うことになる彼女の生涯には、巖本善治、島崎藤村、星野天知、国木田独步、内村鑑三、荻原碌山、中村彝（つね）、秋田雨雀、神近市子、頭山満、エロシェンコ、ボース、松井須磨子、etc.....じつに多彩な顔ぶれが関わり、さながら近代日本文化の中継点の観を呈しています。

この黒光の生涯を軸に、幕末から昭和初期にかけての、政治史・文学史・文化史を多角的に論じていきたいと思いをします。

1	プロローグ
2	仙台の明治維新
3	東京の叔母さん
4	上京まで
5	宗教より文学へ
6	新文学運動および浪漫主義
7	『浮雲』の世界
8	文化と資本
9	フェリス退学まで
10	明治女学校
11	にぎやかな生活
12	結婚生活のはじまり
13	開店まで
14	中村屋の商法
15	新宿中村屋

評価

毎回の授業時に提出するリアクション・ペーパー（50%）、学期末レポート（50%）。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』（平凡社ライブラリー）、宇佐美承『新宿中村屋相馬黒光』（集英社）、白

井吉見 『安曇野』 (筑摩書房)

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	中嶋 公子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

男女共同参画とは、男女が社会のあらゆる分野に平等に参画することを言います。フランス女性史を通して、フランスでは男女共同参画がどのように実現されてきたかを見ます。1970年代に始まったフランス女性史は、ジェンダーの視点から、それまでのフランスの歴史が、いかに固定的な視点、男性の視点で作られ語られてきたかを明らかにしました。そうして、歴史の中から、女性たちの具体的な生活を生き生きと描き出し、また、時代の制約を越えて、女性の新しい生き方を創り出した女性たちを掘り起こしました。彼女たちは、時代の女性像とどうたたかい、どんな悩みをもち、どう生きたのか、その時代のなにを変えたのか。近現代を中心に、そうした女性たちを通して、フランス女性史を学びます。そして、日仏の女性たちがいまどういう問題を抱えているのか、同じ点、ちがう点を比較しながら、現代の女性たちの生き方や男女関係のあり方について考えます。とくに、現代フランスでは、男女の生き方やカップルのあり方の選択肢が多様化しているので、学ぶところが多くあります。

内容

1. フランス女性史はなぜ、どのように生まれたのか
2. 中世 聖母マリア像とキリスト教の時代 クリスチーヌ・ド・ピザン
3. 近代(1) フランス革命の時代 オランブ・ド・グージュ
4. 近代(2) 良き母・良き妻像と戦争の時代 フロラ・トリスタン、マルグリット・デュラン
5. 現代(1) 固定的な女性像への疑問の時代 シモーヌ・ド・ボーヴォワール、ココ・シャネル
6. 現代(2) 女性像を女性が自分で選ぶ時代 シモーヌ・ベイル、セゴレーヌ・ロワイヤル他

・以上の内容を主にパワーポイントで、写真やイラスト、またDVD、ビデオなども使いながら進めます。

評価

出席(出席率、出席カードの記述内容)30点及び課題レポート20点、期末レポート50点により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】イヴォヌヌ・クニピレール/カトリーヌ・フーケ『母親の社会史』筑摩書房 367.235/K

シモーヌ・ド・ボーヴォワール『決定版 第二の性』全3冊 新潮文庫 367.2/B/1-3

ミシェル・ペロー『フランス現代史のなかの女たち』日本エディタースクール出版部 367.235/P

【参考図書】G・デュビィ、M・ペロー監修『女の歴史』全5巻10分冊 藤原書店

オリヴィエ・ブラン『女の人権宣言-フランス革命とオランブ・ド・グージュの生涯』岩波書店

棚沢直子・草野いづみ『フランスには、なぜ恋愛スキャンダルがないのか?』はまの出版

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	西澤 喜代美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

イギリスで児童書が出版されるようになったのは、18世紀中ごろからで、児童文学の分野では多くの女性作家が活躍してきました。自立を志向した女性に認められていた職業は、家庭教師か児童文学の作家、コンパニオンであったという時代背景があります。以来今日に至るまで女性作家が多くの歴史に残る優れた作品を書いています。

19世紀から20世紀にかけて、自立を志向した女性作家たち、また彼女たちによって書かれた「少女像」の変化について研究します。

内容

19世紀末から20世紀にかけて、イギリス、アメリカ、カナダにおける「女性の役割の変化」「子ども観の変化」について研究し、個別には以下の作家、作品について研究します。

1	出発点として現代日本における理想とする女性像、少女像
2	イギリスにおける女性史
3	F．H．バーネット
4	『小公女』
5	『秘密の花園』
6	アメリカにおける女性史
7	L．M．オルコット
8	『若草物語』
9	『第四若草物語』
10	映画『若草物語』
11	カナダにおける女性史
12	L．M．モンゴメリー
13	『赤毛のアン』
14	『赤毛のアン』シリーズ
15	まとめ

評価

出席カードの記載内容30点、課題レポート30点、期末レポート40点で評価し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書リストを授業で配布します。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

女性の地位向上、男女共同参画の推進という国際的課題への取り組みによって、わが国の女性たちの働き方はおおきく変化した。なかでも、女性たちが自ら事業を起こすという活動は、様々な意味でオルタナティブな提案を含み、注目を集めてきた。先進国における女性の起業動向や発展途上国における所得創出事業も視野におきながら、現代社会における女性の働き方を検討する。

事例検討にあたっては、履修者が分担して発表・報告を行なうようにする。能動的・主体的な履修者を歓迎する。

内容

1	女性の労働・職業観の歴史的変化
2	女性の働き方に関する国際比較
3	女性の起業が社会的関心となった社会的状況
4	わが国における女性起業の動向
5	事例検討1：生活ニーズからの起業
6	事例検討2：生活技術とビジネスチャンス
7	事例検討3：家族自営における経営参画
8	事例検討4：地域振興・地域間交流への貢献
9	事例検討5：ボランティアから持続的事业へ
10	事例検討6：福祉的事业の展開 - ミッションとプロフィット
11	女性起業の現状と課題
12	女性起業を支援する施策・制度
13	女性起業のネットワークおよび高齢者・学生・障害者による起業
14	事業が実現するもの - オルタナティブなマネジメント
15	レポートの発表と講評

評価

出席および事例発表への参加態度(20点)、期末レポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：金森トシエ・天野正子・藤原房子・久場嬉子『女性ニューワーク論』有斐閣、1989 366.35/J

地域社会計画センター編『農村の女性起業家たち』家の光協会、1994 611.7/C

岩崎由美子・宮城道子編著『成功する農村女性起業』家の光協会、2001 611.7/S

町田洋次『社会起業家 - 「よい社会」をつくる人たち』PHP新書、2000 335.8/M

科目名	生物統計学		
担当教員名	増田 文夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

実験結果のまとめとして検定が行える能力の基礎教育を目標とします。 教養科目ではありません。

内容

1	基礎統計量
2	第1回平常試験
3	平均値の区間推定
4	平均値の検定
5	第2, 3回の平常試験
6	2つの母集団の平均値の検定
7	第4回平常試験
8	対応のあるデータの平均値、等分散性の検定
9	第5, 6回平常試験
10	相関係数の検定、回帰係数の検定
11	第7, 8回平常試験
12	独立性の検定
13	第9回平常試験
14	分散分析
15	第10回平常試験

評価

平常試験(50%)、平常点(50%)を勘案して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】増田文夫著 『関数電卓による統計学』 (株)ア-キテクト

【教科書の購入方法】専用の郵便振替用紙を使って入金してください。窓口で支払う金額は(手数料も含めて)1,000円です。食物栄養学科は必須科目ですので即日購入してください。

【電卓】必須 CASIO製 fx-913ES(他の機種は不可)

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎(1回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎(2回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎(2回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習(6回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習(2回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習(2回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体(USBメモリ)については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	神山 輝夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	神山 輝夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎(1回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎(2回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎(2回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習(6回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習(2回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習(2回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体(USBメモリ)については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	塩田 伊都子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	中村 有		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1．プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2．表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3．ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4．マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	人間生活論		
担当教員名	宮城 道子、井上 久美子、綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活とは人間が生きるために行なうあらゆる行動およびその過程である。この総合的な生活を理解するためには、多様なアプローチが必要となる。本科目では、生活にかかわる学際的・現代的課題をとりあげ、多面的で柔軟な生活の理解をめざす。さらには、生活の主体としての人間への理解を深め、専門的知識・技術についての学びの共通基盤の獲得をめざす。

内容

講義のはじめに「学び」とは何かを考える。その上で、生活を対象に学ぶために必要な概念を整理する。授業の後半においては、多様な生活主体によって成立する現代社会を理解するために、今日的・具体的テーマを取り上げる。生活の自立・自律の意味を考える契機としたい。

1	生活理解へのアプローチ - 生活を学ぶとは
2	専門職としての学びと自己成長
3	個人の成長・発達と生活
4	生活の主体 - 生活単位・生活領域
5	生活の過程 - 生活(消費)過程・生産過程・交換過程
6	生活の広がり - 生活時間・生活空間・生活情報
7	生活の手段 - 生活財とサービス・ストックとフロー
8	生活の社会化 - 外部化・商品化・共同化
9	生活の文化 - 生活構造・生活様式・継承と変化
10	食生活から見た健康・栄養問題
11	現代社会における食生活・食行動
12	グリーン・ツーリズムと地域振興
13	ふるさと資源とコミュニティ
14	生活の自立・自律と共同・協同 - これからの公共私
15	試験

評価

出席および受講態度(10点)、レポート(40点)、試験(50点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: 松村祥子・岩田正美・宮本みち子『現代生活論』有斐閣、1988

天野正子『「生活者」とはだれか - 自律的市民像の系譜』中公新書、1996

林良博・高橋弘・生源寺眞一『ふるさと資源の再発見』家の光協会、2005

科目名	人間社会論		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1) 人間の社会性について、少しでも理解を深めることをめざす。

(2) 自我の社会性、人間形成における職業活動の意義、豊かな生に不可欠な遊びと文化など、社会的存在としての人間の生の諸相を学ぶ。

内容

1	授業の概要
2	現代人と功利主義
3	幸福と理想
4	人格哲学
5	個人自律と共同性ーカントとヘーゲル
6	職業と人間
7	職業観の変遷
8	仕事の意義と問題
9	専門職と職業倫理
10	現代社会と教養
11	仕事と遊び
12	遊びと解放
13	遊びと文化
14	文化と人間
15	文化と言葉

評価

- ・ペーパーテストと出席によって評価する。
- ・テストに65%、出席点として35% 配点する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	人間共生論		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間が、そもそも共同的存在であること、共に生きる存在であることを理解してもらう。

共に生きるということはどのようなことが、社会的に共に生きること、文化的観点から共に生きること、そして自然と共に生きることについて考えてみる。

同時に、共に生きることを妨げているものについても検討する。

内容

1	授業の概要
2	共同的存在としての人間
3	福祉社会と共生の理念
4	ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン
5	人権思想の重要性
6	男と女そして家族
7	異文化との共生
8	グローバル化とローカル文化
9	文化相対主義
10	外国人労働者と人権
11	自然との共生
12	生態系と自然の秩序
13	自然と文明
14	自然と人為
15	まとめー共に生きること

評価

- ・ペーパーテストと出席によって評価する。
- ・テストに65%、出席点に35% 配点する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	児童青年期の精神保健		
担当教員名	中村 有		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「児童・青年期」という時期は、その時期を生きる彼ら彼女らを取り巻く全ての環境が大きく影響します。それまでに触れたことがないような強い刺激が多くなるだけでなく、本人たちも意欲的に環境へ関わろうとするため、相乗効果から大きな変化が生まれる日々となります。その日々の中では「児童虐待・学級崩壊・不登校・いじめ・引きこもり・家庭内暴力・リストカット・自殺・薬物依存・ニート」などの多くのセンセーショナルな問題が起こり、まるで社会現象のように扱われて問題視されます。しかし、この時期の「こころ」への介入・改善は複雑かつ難解なものであると意識されているため、多くの大人は足踏みし、敬遠してしまっています。

さて、日々生活していく中で生じてしまう「こころの問題(=精神障害)」をどのように予防し、どのように発見し、どのように治療し、どのように社会へ戻すのか、このようなことを学ぶのが「精神保健」の大切な役目です。そこで、この講義では「児童～青年期」という人生の中でも非常に重要な時期に表面化しやすい「こころの病」に焦点を当てて、その背景にある生物学的・心理的・社会的要因を考察していくことで、問題の実体を正しく理解することを目標とします。多少、聞き苦しい内容もありますが、頑張ってください。

内容

精神保健学は、精神障害を予防・治療して精神的健康を保持・促進する学問分野です。そこで、以下に分類した5つのテーマを中心に、精神保健学的な「考え方(症状への理解)」・「関わり方(症状への介入)」を学んでいきます。全15回の前半では基本的な考え方を学び、後半では実際の症例を学びます。

1. 精神保健を考える - 心の健康を保つために精神医学と精神衛生を活用する -
2. 人格と性格 - 人の気持ちの説明書を読むとわかること -
3. 心の病と精神病 - 神経症・心身症・気分障害・統合失調症 -
4. 適応障害 - 摂食障害・不登校・退却神経症 -
5. 発達障害 - 自閉性障害・注意欠陥多動性障害 -

講義はテキストを中心に進め、情報を補うためにプリントも配布します。具体的には、上記テーマの該当箇所を講読(テキストに解説を加えます)し、理解を深めます。また、臨床心理士として経験した症例・実践例の中からテーマに合うものを毎回紹介することで、講義内容の理解を助けます。

評価

人と向き合う仕事は、約束をした時間に相手の前にいることが最重要であり必須だと考えています。したがって、出席状況は評価の中でも重要な位置づけとして考えるつもりです。そこを基本にペーパーテストorレポートの成果を含めることで、総合的に評価しようと思います。具体的には「出席：40点 ペーパーテスト or レポート：60点」とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】鈴木英鷹 著 『精神保健学 第9版』2010 清風堂書店

【推薦書】松橋有子・高野陽 編著 『新 保育ライブラリ 子どもを知る 精神保健』2009 北大路書房

小林芳郎 編著 『精神保健の理論と実際』2004 保育出版社 493.79/K

池田由子 著 『やさしい精神保健』1993 教育出版

【参考図書】志水 彰・頼藤和寛・水田一郎・岩瀬真生 著 『精神医学への招待 第2版』2005 南山堂